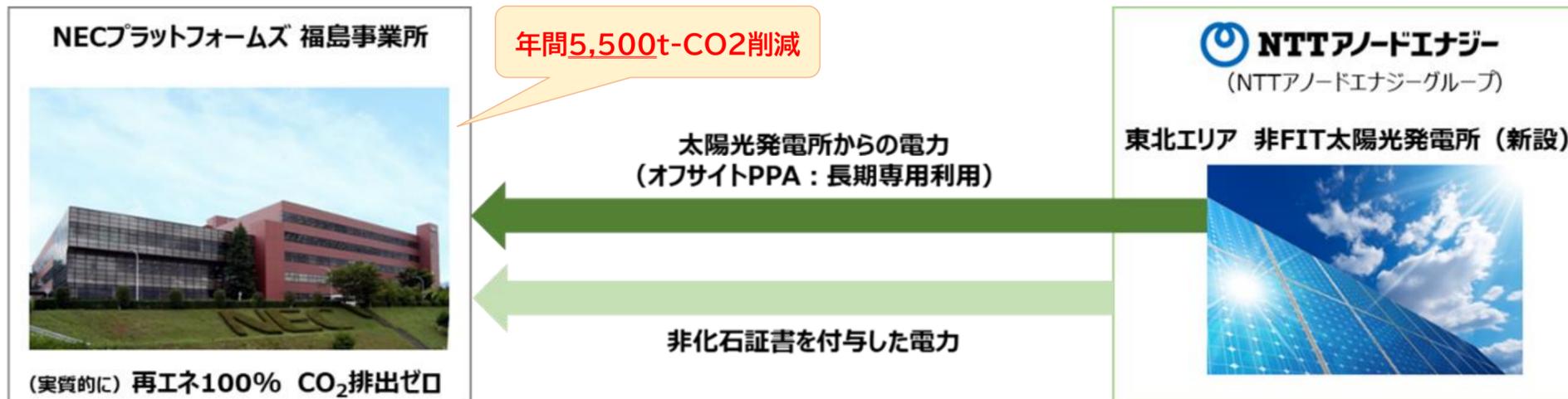


オフサイトPPAによる再生可能エネルギー電力の利用開始 (非化石証書含む)



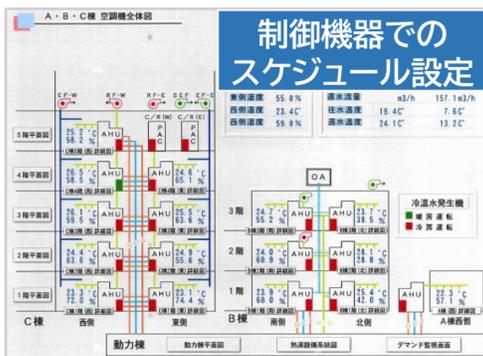
2024年6月より、オフサイト型コーポレートPPAの仕組みを導入し、NTTアノードエナジー株式会社が新設する太陽光発電所から再生可能エネルギー由来の電力の利用を開始しました。
NTTアノードエナジーから提供する再生可能エネルギーの総電力量は、約1,200万kWhとなる見込みで、オフサイトPPAによる太陽光発電及び非化石証書を活用することで、実質的に100%再生可能エネルギーの利用を実現します。
これにより、温室効果ガス排出量の削減効果(非化石証書含む)は、年間5,500トンの見込みです。

また、福島事業所では、NTT向け5G基地局装置を製造しており、将来的には、次世代光通信基盤「IOWN」に対応した装置の製造をすることで、「再生可能エネルギーを使って、最小限の電力で省電力製品を生産し、お客様へ届ける」ことを目指しています。

※IOWN:半導体の電子回路を光の回路に置き換え、電力消費を大幅に削減する技術

【空調電力削減】

①空調稼働申請制の導入



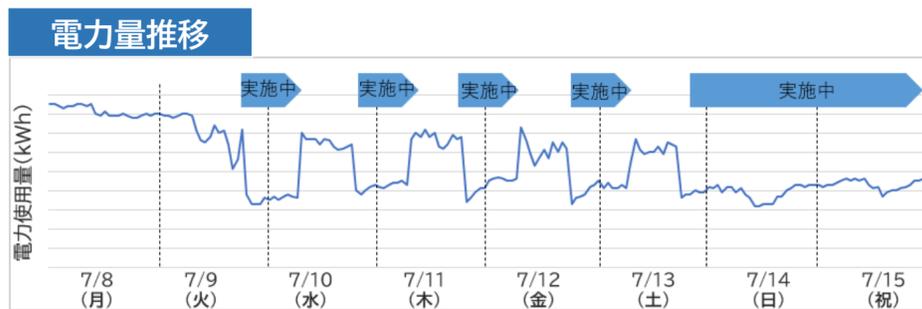
開始:2023年10月
年間削減電力量:384MWh
(187.4t-CO2相当削減)

コロナ対策として24時間空調を稼働していましたが、5類移行及び、省エネルギー推進の一環として、休日及び平日夜間の空調稼働申請制を導入しました。
(11フロア 対象空調機数:15機)
働きやすい環境を確保しつつ不要な電力消費を抑えるため、申請がないフロアは空調稼働を停止しています。きめ細かな空調運転を行い、併せて、人がいないフロアの消灯を徹底することで、消費電力を抑えることができました。
2024年6月からは、各フロア担当管理職の申請により必要性を判断し、過剰な稼働を抑えるようにしています。

②省エネパトロール

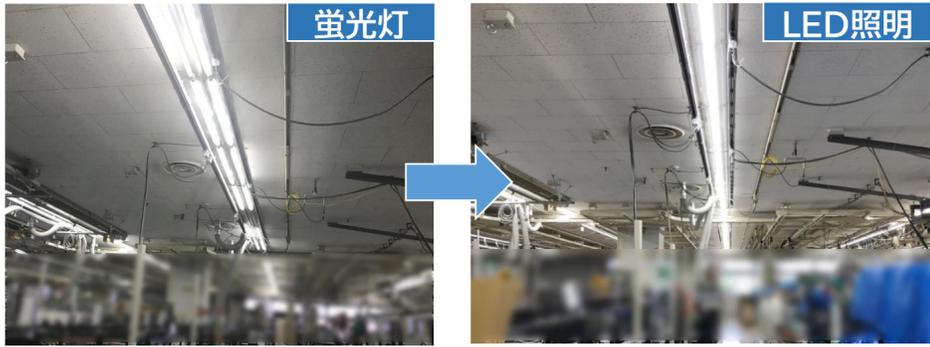
空調稼働申請制の導入と並行して、省エネパトロールを実施しています。申請された稼働時間と出勤状況や生産ライン、OA機器の運転状況を照合し、不要な機器の停止を確認しています。

③片側温調運転



空調電力削減の施策として一部フロアの空調運用を見直し、夜間及び週末の片側温調を開始しました。大型空調機2台を通常運転と送風運転に使い分けることで、消費電力を削減することができました。
実行においては、製造部門・技術部門と協議を重ね、各部門と連携しながら省エネルギーに力を入れて取り組んでいます。

【照明器具のLED照明化】



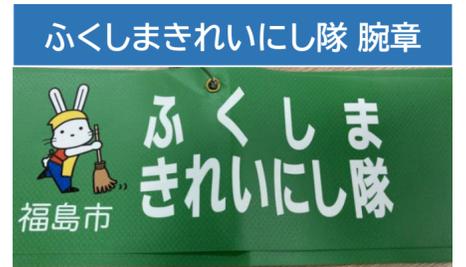
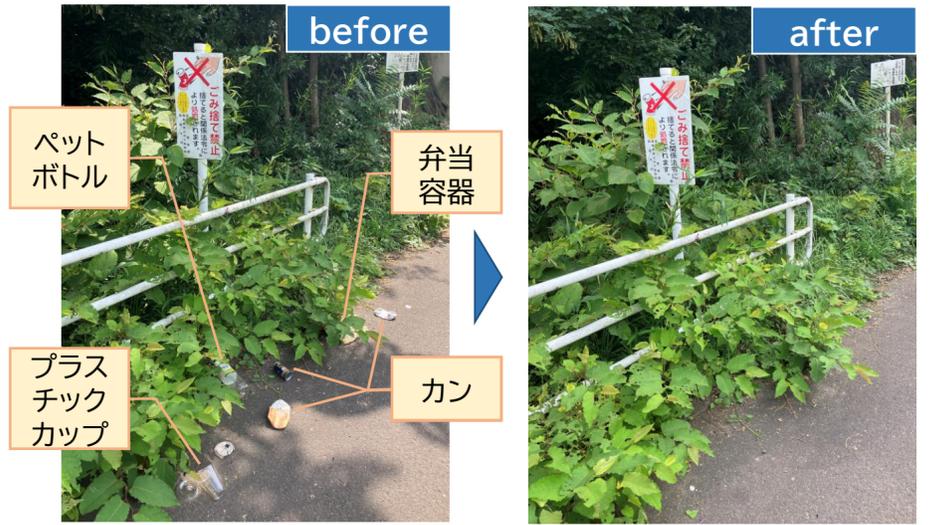
- ・総器具数: **4,482**
- ・2023年度までの更新器具数: **3,234** (72%)
- ・2024年度更新予定器具数: **431** (82%)
- ・残器具数: 817
- ・2024年度年間削減量: 72.3MWh (**35.3t-CO2相当削減予定**)

2023年度に事務フロア1か所と生産フロア1か所の照明器具のLED照明化を実施しました。実施による温室効果ガスの排出削減量は、42t-CO2/年となり、現在の事業所内のLED照明率は、72%まで上昇しました。計画的なLED照明への更新を進めており、今後も残るフロアへ順次対応を進め、LED照明率100%を目指します。

今年度は生産フロア1か所を更新し、LED照明率は82%となる予定で、さらなる省エネルギー化を進めます。

※2026年度までに、LED照明率100%達成予定

【ふくしまきれいにし隊】



事業所周辺道路のごみ拾いとして毎月クリーン運動を実施しています。周辺道路にはポイ捨てされたごみが多く、定期的な回収によってごみのない状態の維持に取り組んでいます。

2024年7月からは、福島市が運営する「ふくしまきれいにし隊」に加入し、活動を開始しました。今後は福島市と協働してポイ捨てごみのない美しい環境づくりにさらに貢献していきます。

【廃プラスチック有価売却化】



PSTレー: 約**240kg**/年 (約20kg/月)
PSリール: 約**720kg**/年 (約60kg/月)

産業廃棄物として処理業者へ委託している廃プラスチックの一部を有価売却化することで廃棄量の削減に取り組んでいます。2022年度からPSリールの有価売却を実施し、今年度は排出されるプラスチックトレーの種類を調査・分類し、処理業者に確認しつつ有価売却を開始しました。

【TRENCYの森】



TRENCYの森リニューアルコンセプト

明るく、解放感のある空間
(自然の癒しを感じる)



従業員が元気で働ける
自分の会社が好きになる

TRENCY(トレンシー)の森は、「TREND OF ENERGETIC CYCLE:活気に満ちたエネルギーの循環を目指す」という意味で名付けられた、事業所内に約35年存在する森です。現状は草木が荒れ放題で暗い雰囲気のため、2024年10月にリニューアルオープンを予定しています。日光が入るように植栽を見直し、社員が自由に利用できる明るい森として生態系と生物多様性の保全に取り組んでいます。